

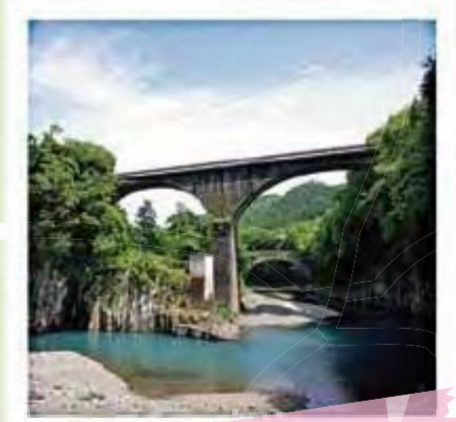
豊後大野市サイクリングロードMAP



A 朝倉文夫記念館
 明治後期から大正、昭和にかけて活躍した日本を代表する彫塑家で、ここ豊後大野市朝地町の出身である朝倉文夫の作品を多く展示しています。
 また、園内には世界各国の新進気鋭の若手作家が制作したモニュメント等も間近に見ることができます。



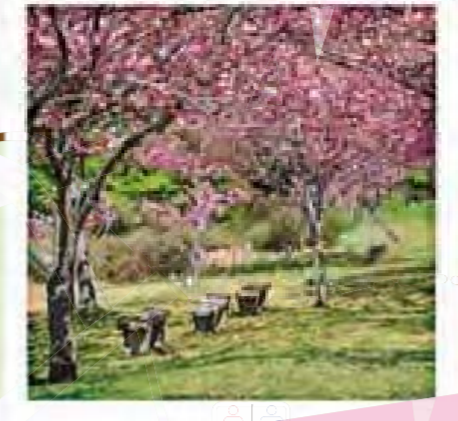
J 原尻の滝
 緒方平野の真ん中に突如として現れる幅120m、高さ20mの滝です。
 古来より人々の生活と深い関係があって、私たちの歴史や文化、産業に大きな影響を与えてきました。



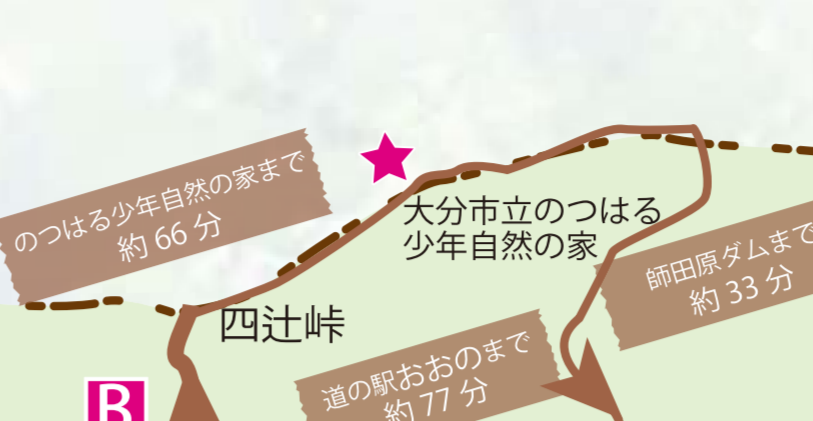
I 出会橋・轟橋
 出会橋と轟橋は大正時代の終わりから昭和の初期にかけて作られた橋です。この2つの橋のアーチの長さは日本一(轟橋)と日本2位(出会橋)。
 自然の営みと人の営みが交差し誕生したジオサイトです。

主要公共交通機関から拠点施設までの距離

大分空港	⇨90km⇨サイクリングハブ拠点施設	⇨85km⇨阿蘇くまもと空港
別府国際観光港	⇨54km⇨サイクリングハブ拠点施設	
西大分港	⇨42km⇨サイクリングハブ拠点施設	
佐賀関港	⇨52km⇨サイクリングハブ拠点施設	
白杵港	⇨39km⇨サイクリングハブ拠点施設	
佐伯港	⇨50km⇨サイクリングハブ拠点施設	



B えぼし公園
 浄水寺の境内にあるこの公園は、約500本ものぼたん桜が植樹されており、ぼたん桜の名所となっています。4月中旬から5月上旬にかけてが見頃です。



道の駅あさじ
 道の駅あさじまで 約41分
 道の駅おののまで 約39分
 道の駅よかわまで 約76分



C 師田原ダム
 総貯水量360万トン、毎秒貯水量は1.4トンの農業用ダムで、昭和44年度から建設が着手され、豊後大野市大野町全域にわたる畑地1,185ヘクタールに給水を行うものでした。このダムの完成後、農業の生産性は安定し、豊後大野市の特産品を多く産み出しています。



D 大迫磨崖仏
 制作年こそ詳しく分かっていませんが、大野川流域に多くある他の磨崖仏と違って、市内で唯一、宇宙の真理を表す「大日如来」であること、彫刻された崖が阿蘇溶結凝灰岩ではなく、もろい性質の凝灰岩であることが特徴です。



E 江内戸の景
 江内戸の景は、大野川の浸食によって作られた河岸段丘の地形です。大地と川によって作られたこの景色は豊後大野ジオパークを象徴する景色であり、道の駅みえから一望することができます。



F 沈黙の滝
 大野川本流にある「雄滝」と大野川の支流である平井川にある「雌滝」の2つの滝によって構成されています。
 この滝は、今から600年ほど前に活躍した雪舟により水墨画として描かれており、江戸時代の地誌「豊後国志」にも記述が残っています。



G 白山渓谷
 白山渓谷の川底や川岸では、阿蘇火砕流堆積物である阿蘇溶結凝灰岩を見ることができます。また、5～6月にはホタルが乱舞し、夏には川遊びが楽しめます。アーチ式石橋が数多くかかる川としても有名です。



H 稲積水中鍾乳洞
 稲積水中鍾乳洞は日本最大の水中鍾乳洞です。30万年前の阿蘇火山大噴火により水没し現在の形を形成しました。洞内には水中鍾乳石や珊瑚石、ペルホール、ヘリクタイトなどが数多く見られ、世界的にも珍しい水中鍾乳洞です。

